

2008 年度

科目名 国語学演習	対象学科・学年 研究科前国1回生 研究科後国1回生	担当者 宇都宮 啓吾	
授業テーマ 訓点資料を読む			
授業の概要と目標 訓点資料を対象として、翻刻・訓読文作成を行い、これらに基づく国語学的分析や文化史的分析を行う。			
評価方法 授業の出席日数と課題提出、課題への取り組み方で総合的に評価します。			
テキスト 特に指定しません。適宜、プリントを配布します。	著者	出版社	
参考書 特に指定しません。適宜、プリントを配布します。	著者	出版社	
授業スケジュール・内容 演習形式をとります。最初の数時間については、教員の側で日本語を考える上での視点をいくつか紹介し、それに沿う形で講義と発表を行ないます。その後で、みなさんの演習発表へと移ります。発表については、 1、問題提起 2、問題解決の方法 3、問題解決の手続き 4、結論 という形で発表を望みますが、まずは、自分の考えを「ことば」にするところから始めてください。失敗も成功への第一歩。とにかく、「考える」ことを習慣づけてください。			
	時間	テーマ	補足
導入	1	オリエンテーション	演習計画の説明・打合せ
事前指導	2	国語学研究法	訓点資料の概説 訓点語研究の概要
	3		
	4		
演習	5	具体的発表	学生による個別発表
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
14			
まとめ	15	本演習の総括	全体の纏め今後の研究への発展